


学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 児童の聞く力・表現する力を育成する授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長: 森田 範子	教頭: 富永 由美子
1学年推進員	6学年推進員	福井 啓史	5学年推進員: 西條 敬子
多富 美智	4学年推進員	一宮 紫苑	3学年推進員: 荒井 佳代
	2学年推進員	三崎 美枝	

校長

森田 範子 

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ドリル学習や音読練習に取り組む習慣が身に付き、基礎的・基本的な知識・技能が定着してきている児童は多い。 ●学力に二極化傾向がみられ、各学年に学力の低い児童が数名いる。一人一人の学力に応じた支援の仕方に課題がある。	・学習課題に確実に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用することができる。 ・話し方・聞き方のスキルを身に付けている。	・わかりやすい板書を工夫し、問題解決の流れにそったノートがとれるような指導を行う。 ・パワーアップタイムの実践内容を学年間で共有し、実態に合わせて活用できるようにする。 ・ICTを活用して、一人一人の習熟の程度に応じた学習を工夫する。 ・話し方・聞き方の指導を充実させる。	パワーアップタイムの実践内容について学年で話し合う機会を設け、有効に活用していく。 ICTに触れる機会を増やし、習熟の程度に応じた学習に取り組ませる。	・板書を工夫し、ノート指導を行うことができた。 ・パワーアップタイムの内容を学年間で共有して実践することが十分できなかった。 ・ICTに触れる機会を増やしたことで、操作に慣れ、学習に活用できるようになった。 ・話し方・聞き方の指導を充実させた。	・パワーアップタイムの時間を確保し、有効に活用できるよう工夫していく。 ・ICTの効果的な活用方法について、さらに研修に努め、実践できるようにしていく。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを進んで発表したり、友達の意見を関心をもって聞いたりすることができる児童は多い。 ●相手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えの根拠を明確にして話したりすることはあまりできていない。	・話し手の言いたいことを考えながら聞き、目的や相手に応じて根拠を示しながら、自分の考えを適切に表現することができる。 ・友達と意見を交換することを通して、自分の考えを広げ、深めることができる。	・学習活動の中に、書く活動を積極的に取り入れ、根拠を明確にしながらか自分の考えをまとめる機会を設ける。 ・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用して、児童が互いに考えを交流できるように工夫する。	課題を解決するために、必要な情報を選択して自分の考えをまとめ、互いの考えを交流する活動を通して、思考を深めさせる。 その手立てとして、ノートやホワイトボード、ICT等を活用していく。	・書く活動を積極的に取り入れることで、自分の考えをまとめる機会を増やすことができた。 ・感染予防のため、ペア学習やグループ学習の機会をあまり設けることができなかった。 ・児童が互いに考えを交流する手段としてのICTの活用があまりできなかった。	・自分の考えをまとめる時に、考えの根拠を明確にして書く習慣を定着させていく。 ・ペア学習やグループ学習を取り入れるのが難しい状況で、児童が互いの考えを交流させていく方法を工夫していく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題に対してまじめに取り組むことができる。読書が好きな児童が多い。 ●決められた課題には取り組むが、自分から課題を見つけて進んで取り組もうとする児童は少ない。また、学習に必要なものがそろっていなかったり、宿題を忘れてきたりするなど、学習習慣がきちんと定着していない児童がいる。	・望ましい学習習慣が身に付いている。 ・進んで学習に取り組む、学ぶ楽しさやわかる・できる喜びを感じることができる。	・「学習習慣チェックシート」を活用し、学習習慣の定着を図る。 ・授業に児童の主体的な体験や活動を積極的に取り入れる。 ・学習したことを振り返る場面を設定して、解決した達成感と次への課題意識をもたせるようにし、それを基に授業改善につなげる。 ・学年に応じた自主学習の仕方を指導する。 ・朝の読書タイムの確保に努め、児童の読書習慣の定着を図るとともに、読書環境を整えて学年に応じた読書を推進していく。	学習習慣をつけるために、常にチェックシートを意識して指導する。 授業の中で、振り返る場面を確保していく。 「家庭学習の手引き」を活用して、自主学習の仕方を指導していく。 読書時間の確保に努めるとともに、読書の楽しさを実感できるような手立てを工夫する。	・チェックシートを意識して指導することで、学習習慣の定着につながった。 ・授業に児童の主体的な体験や活動を積極的に取り入れることができた。 ・学習を振り返る場面を設定して、児童の学習状況を把握し、授業改善につなげることができた。 ・学年に応じた自主学習の仕方を概ね指導することができた。 ・学年によっては、読書の時間を確保することが難しかった。	・「学習習慣チェックシート」の形式を見直し、自分の成長がわかるようなものにかえていく。また、めあてや振り返りも記入させるようにする。 ・自主学習の仕方を指導するために、「家庭学習の手引き」をさらに活用していく。 ・朝の読書タイムの確保に努めるとともに、学級文庫の本を入れかえるなど読書環境を整えて、様々な本を読む機会を増やしていく。

令和3年度 学力向上ロードマップ

